

令和4年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	4. 衛生費	大事業	13. 3歳児視力スクリーニング事業
項	1. 保健衛生費	中事業	
目	2. 保健衛生費	担当所属	母子保健課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額			5年間計画額		
臨時	補助	計画	0	0	0	実施計画	第1章	ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）	令和3年度	0
							基本施策2	子育て支援	令和4年度	1,584
									令和5年度	429
							施策1	相談・交流の場を充実し、妊娠・出産・育児期に係る切れ目のない支援を行います	令和6年度	429
								令和7年度	0	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	577	
本年度当初査定額	577	1,155

財源内訳	国庫支出金							一般財源
本年度当初要求額	577							△577
本年度当初査定額	577							578

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・スポットビジョンスクリーナーを用いて、すべての3歳児健康診査受診者に屈折検査を実施します。</p> <p>・必要な児に視能訓練士による視力検査を実施し、精密健康診査の必要な児を判定し、保護者に精密健康診査の受診勧奨を行います。</p>	<p>(事業の目的) 子どもの目の機能は、6歳までにほぼ完成するため、3歳児健診で「弱視」などの異常を発見することで、適切な医療につなげ視力の発達を促すことができますが、見逃されると治療が遅れ十分な視力が得られないことがあります。群馬、富山、高知のすべての市町村で実施しているのに対して、千葉県では16.7%と全国平均を下回っており、3歳児健診の視力検査の実施方法に格差が生じています。</p>	<p>(事業の効果) 佐倉市の3歳児健診を受診したすべてのお子さんに屈折検査を行うことで弱視などの目の病気の早期発見・早期治療につなげることができ、就学時までには正常な視力を獲得することができます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) スポットビジョンスクリーナーによる視力検査の精度が向上すると、精密健康診査が必要な児が増加する可能性があり、幼児健診事業の精密健康診査委託料が不足する可能性があります。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 新規事業</p>	<p>(見積についての特記事項)</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
17	1,155	0	1,155

款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額	
特定財源	16	02	03	01	02	00	母子保健衛生費補助金	577	577	0	577
	差引一般財源							△577	578	0	578